

## 米山嘉一家文書目録と目録作成について

- 1 本文書は、2013年に「旧豊洲小学校文書」として目録化された史料群のうち、そこに含まれていた米山嘉一家関係史料を分離し、単独の「米山嘉一家文書目録」として作成したものである。
- 2 本文書は、「豊洲小学校沿革誌」作成時に、米山家から豊洲小学校に寄贈されたもので、「旧豊洲小学校文書」では、これを連番整理番号「059」（59番目）に位置づけ、史料番号は「059-A-1」から開始して、整理ラベルを貼付してある。  
「米山嘉一家文書目録」はこれを尊重し、連番整理番号、史料番号ともにそのまま活かして利用することとする。
- 3 本文書は、米山嘉一氏が豊洲村「第三区」の区長をされていた明治30年代から大正11年を中心としたものである。村や地区の行政上の予算・決算書類の外、役場からの通知、農会の活動関係の書類が大半を占める。豊洲地域の明治後期から大正期にかけての研究に寄与するところが大きいと思われる。
- 4 これらの史料を、原則として時系列により配置して目録を作成した。史料点数は138点である。本史料目録が、旧豊洲村域をはじめ須坂市民、さらには、多くの地域史研究者によって活用されることを期待する。
- 5 史料形態については、次のように略記した。  
横半、縦、紙（一紙）、冊（冊子）、綴（ジョイントを含む）など
- 6 本史料目録は、須坂市文書館の専門員 田子修一が作成した。

2019年2月25日

須坂市文書館